

○事業所名	はあと		
○保護者評価実施期間	2023年 6月 30日		2024年 7月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2023年 6月30日		2024年 7月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが通所を楽しみにしてもらえるように、安心して事業所で過ごすことができる空間であることを心掛けている。	集団の時間、余暇時間など構造化することによって子供たちが分かりやすく過ごすことができるように支援している。	余暇時間に集団遊びと一人遊び又はスタッフと遊ぶなど本人が選択できるように支援している。
2	小学1年生から高校3年生までの長い時間の中で少しの変化にも気付くことができ、次の支援に繋げることが出来る。	勤続年数が長いスタッフが多いので小学生～高校生まで切れ目なく継続した支援を行う。	卒業生に年に一度程度はあとに来てもらうなどして卒業しても居場所であり続けられるよう支援している。
3	活動プログラムが固定化されないようにしている。	スタッフ全員で考え実行し結果を話し合い工夫している。同じ活動でも全員で取り組んだりグループを分けたり、個別に行うなど個人の目標に合わせて活動を考えている。	研修や講演会に積極的に参加し支援の質の向上に取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報の共有	伝わっていると思っていたが不十分だった。送迎時など保護者の方もスタッフを気遣い、聞きたいことあっても聞けなかった可能性もある。	SNSを活用し活動の様子を写真や動画で保護者に共有する。口頭や文章で伝わりにくいことも写真や動画の方が伝わりやすい。個人情報の取り扱いには十分留意する。
2	父母の会や家族(兄弟姉妹)と一緒に参加する行事を行っていない	保護者や兄弟姉妹と一緒に参加できる行事を年に一度程度開催したい。	開催したことがないので、まずは開催場所やイベント内容など企画し実行して保護者や兄弟姉妹に聞き取りを行う。反省点があれば次年度に活かす。
3	地域の方々や子どもと交流する機会がない	野外活動で公園に行く際、地域の子供たちと利用児で自然と遊ぶ事があるが機会を設けての交流会などは行ったことがない。	保護者の意向や地域の情報を集め参加できる行事などあれば参加したい。